

# 平成 29 年度 第 2 回大阪地方会 活動報告

平成 29 年 9 月 30 日 (土)

於：大阪労災病院看護専門学校

平成 29 年 9 月 30 日 (土) 大阪労災病院看護専門学校にて、平成 29 年度 第 2 回大阪地方会を開催いたしました。当日は残暑厳しい日差しの中、会員 40 名 非会員 147 名、合計 187 名の方にご参加いただくことが出来ました。世話人一同、感謝申し上げます。



初めに開催病院である大阪労災病院 医事課長の廣川格彦様より開会のご挨拶をいただきました。最近ではどの医療機関でも、医師事務作業補助者は医師にとっては、なくてはならない存在となっておりますが、病院経営にとっても非常に重要な役割をになっている。このような勉強会の機会に知識の幅を広げて、今以上に医師のサポートを行ってほしい。本日の講師である能浦先生は患者様へ対する説明も非常に丁寧でわかり易いと評判ですので、皆様にとっていい勉強になると思いますとお言葉をいただきました。

開会のご挨拶の後、『大腸がん～書類作成に役立つ病理組織診断・入門編～』と題して、大阪労災病院 下部消化管外科 部長の能浦真吾先生に引き続きご講演をいただきました。ご講演の初めに、診断書記載のポイントとして「診断書に支払事由に関する必要な情報が記載され、支払査定時に生保会社が的確に支払情報を把握し適切な査定が出来るようにすること」が大切であるとお説明くださいました。その後、大腸の解剖学を含めながら大腸がんとはどのような病気であるかのご説明をいただきました。TNM分類や大腸癌取扱い規約も最新の第 8 版を使用して、書類作成のポイントを織り込みながら詳しく解説していただきました。いただいた資料も非常にわかり易く、とても勉強になるご講演だったのではないかと思います。





続いて、『新企画 第2弾!! やってみよう!カルテを見ながら診断書作成』と題して、模擬カルテを使用し、テーブル毎にグループになっていただき、生命保険の診断書を作成していただきました。この時間も能浦真吾先生にご参加いただきました。前回同様に、書類を少しずつ書き進め、グループの代表の方に解答例を発表していただきました。その都度、能浦真吾先生には模擬患者の病状や癌登録に必要な知識のご説明いただきました。積極的に能浦真吾先生に質問をされる方もおられ、参加者の皆様の熱意が伝わってきました。

恒例の支部長賞のジャンケンも能浦真吾先生に行っていただき、終始和やかな雰囲気でした。



最後に、大阪府支部の西川支部長より、先生方が表面的に楽になるのではなく、心の底から「助かっている」と思っているためには、私たちに医学知識が備わっていることが不可欠であると考えます。そしてこのような勉強会の場で、お互いに情報交換をしながら交流を深めることで、医師事務作業補助の発展に繋がっていきたいと考えているため、引き続き皆様からのご支援、ご賛同をお願いしますとの言葉で閉会となりました。

今後も参加者の皆様の業務に活かせるような講演や勉強会を企画し、医師事務作業補助の更なる成長と、知名度向上とともに資格制度を目指したいと思いますので、ご支援の程よろしくごお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回の地方会にご参加いただきました皆様、準備段階からご協力いただきました全ての皆様方に、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

NPO 日本医師事務作業補助研究会  
大阪府支部 副支部長 事務局  
府中病院 堀田 恵